

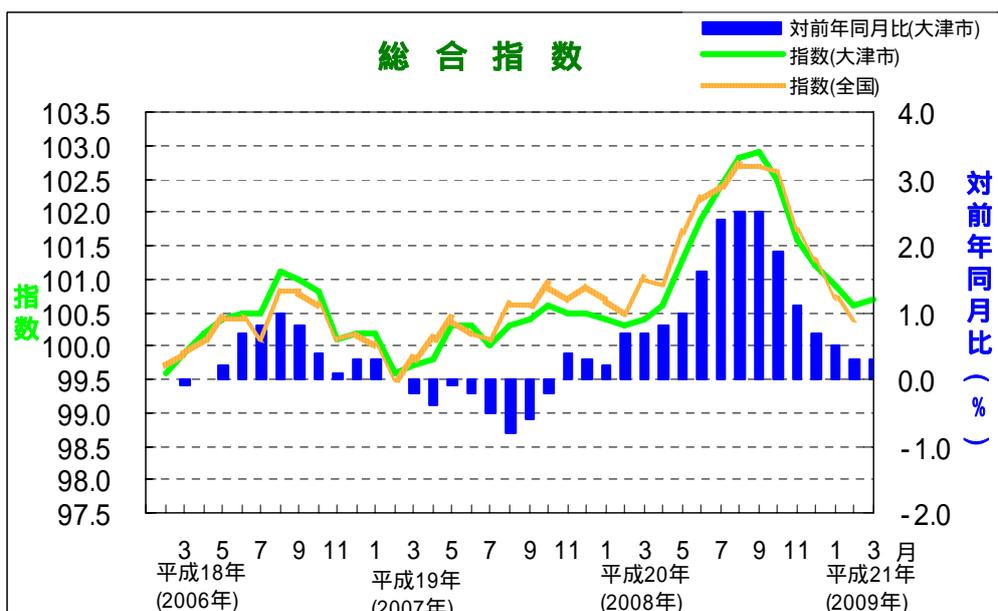
平成17年基準 **消費者物価指数（大津市）**
平成21年（2009年）3月分

（平成21年5月1日公表）

1．平成21年3月分消費者物価指数（大津市）概況

| | 指 数 | 前月比(%) | 前年同月比(%) | 概 況 |
|---------------------------------|-------|--------|----------|--|
| 総合指数 | 100.7 | 0.1 | 0.3 | 前月比で6か月ぶりの上昇。 前年同月比で17か月連続の上昇。 上昇幅は横ばいとなった。 |
| 生鮮食品を除く 総合指数 | 100.4 | 0.2 | 0.2 | 前月比、前年同月比ともに上昇。 前月比は、7か月ぶりの上昇となった。 前年同月比は、2月は横ばいであったが再び上昇した。 |
| 食料（酒類を除く） 及びエネルギーを 除く総合指数 | 99.0 | 0.3 | 0.1 | 前月比、前年同月比ともに上昇。 前年同月比は5か月ぶりの上昇となった。 |

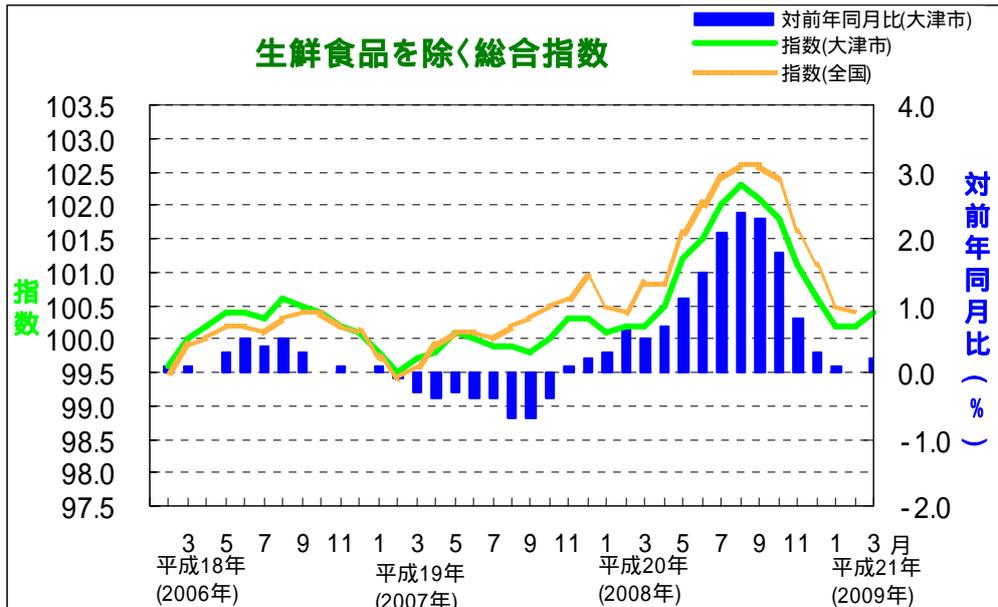
2．総合指数と対前年同月比の推移



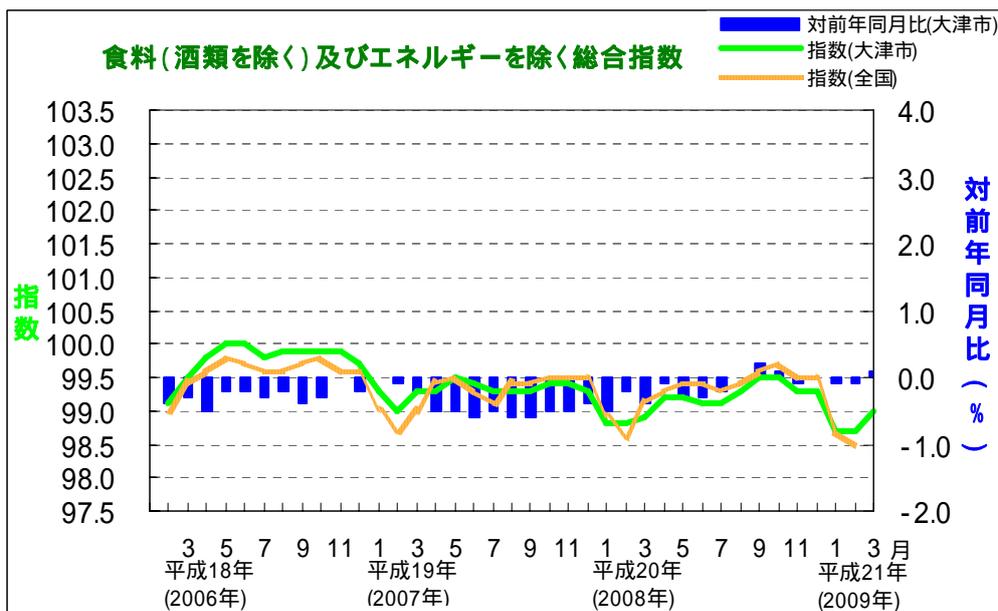
平成21年1月分公表から、総務省統計局の公表に準じ、「食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数」を概況の中でも掲載しています。

総務省統計局消費者物価指数（全国） <http://www.stat.go.jp/data/cpi/index.htm>

3. 生鮮食品を除く総合指数と対前年同月比の推移



4. 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数と対前年同月比の推移



「食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数」 = 「総合」 - 「食料」 + 「酒類」 - 「エネルギー」

「エネルギー」...電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油、ガソリン

5. 10大費目指数と前月・前年同月比および寄与度

平成17年 = 100

| 区 分 | 指 数 | 対前月 | | 対前年同月 | |
|---------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | | 上昇率(%) | 寄与度(*) | 上昇率(%) | 寄与度(*) |
| 食 料 | 104.2 | -0.2 | -0.05 | 3.1 | 0.78 |
| 住 居 | 100.4 | 0.0 | 0.00 | 0.6 | 0.13 |
| 光熱・水道 | 106.8 | 0.0 | 0.00 | 3.5 | 0.23 |
| 家具・家事用品 | 96.9 | -0.5 | -0.02 | -1.7 | -0.05 |
| 被服および履物 | 97.2 | 3.7 | 0.15 | -1.4 | -0.06 |
| 保健医療 | 99.2 | -0.1 | 0.00 | 0.5 | 0.02 |
| 交通・通信 | 97.9 | 0.3 | 0.04 | -5.0 | -0.74 |
| 教 育 | 103.9 | 0.0 | 0.00 | 1.7 | 0.07 |
| 教 養 娯 楽 | 93.8 | 0.2 | 0.02 | -1.2 | -0.11 |
| 諸 雑 費 | 102.5 | 0.3 | 0.02 | 0.9 | 0.05 |

* 寄与度：総合指数の上昇に対して各費目がどれだけ影響したかを示します。

6. 前月との比較

総合指数は100.7で、中分類指数等ごとの主な項目を前月と比べると、調理食品(-1.9%)、生鮮果物(-6.0%)などが下落しましたが、洋服(+9.9%)、乳卵類(+6.7%)などが上昇したことにより0.1%上昇しました。最近の動きとして、平成20年10月から平成21年2月までの5か月間で2.3%下落しましたが、6か月ぶりに上昇しました。

生鮮食品を除く総合指数は100.4で、前月と比べると0.2%上昇し、20年9月以降下落傾向でしたが、7か月ぶりに上昇しました。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.0で、0.3%上昇しました。20年11月以降下落傾向でしたが、5か月ぶりに上昇しました。

上昇した中分類指数等の主な項目(寄与度順)

| | | |
|-------------|-----|------|
| 洋服[被服および履物] | (+) | 9.9% |
| 乳卵類[食料] | (+) | 6.7% |
| 生鮮野菜[食料] | (+) | 3.1% |

下落した中分類指数等の主な項目(寄与度順)

| | | |
|----------|-----|------|
| 調理食品[食料] | (-) | 1.9% |
| 生鮮果物[食料] | (-) | 6.0% |

注) 中分類指数の項目のうち、寄与度および各指数の対前月比が比較的大きな項目のみを掲載しています。[]内は、10大費目名です。

注) 生鮮食品(生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物)については、小分類指数です。

7. 前年同月との比較

総合指数は、前年同月と比べると0.3%上昇しており、平成19年11月から17か月連続で上昇しています。上昇幅は平成20年10月以降5か月連続で縮小していましたが、今月は横ばいとなりました。上昇した中分類指数の主な項目をみると、穀類(+9.6%)、ガス代(+11.2%)、乳卵類(+14.9%)などの寄与度が高くなっています。また、下落した主な項目は自動車等関係費(-8.2%)、教養娯楽用耐久財(-24.5%)、他の光熱(-26.3%)などです。

生鮮食品を除く総合指数は、前年同月と比べると0.2%上昇しており、2月は変動がなかったものの、ふたたび上昇しています。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は、前年同月と比べると0.1%上昇しており、5か月ぶりの上昇となっています。

上昇した中分類指数等の主な項目(寄与度順)

| | | |
|--------------|-----|-------|
| 穀類[食料] | (+) | 9.6% |
| ガス代[光熱・水道] | (+) | 11.2% |
| 乳卵類[食料] | (+) | 14.9% |
| 電気代[光熱・水道] | (+) | 5.6% |
| 設備修繕・維持[住居] | (+) | 3.3% |
| 調理食品[食料] | (+) | 4.2% |
| 肉類[食料] | (+) | 4.0% |
| 生鮮野菜[食料] | (+) | 4.8% |
| 教養娯楽用品[教養娯楽] | (+) | 3.4% |

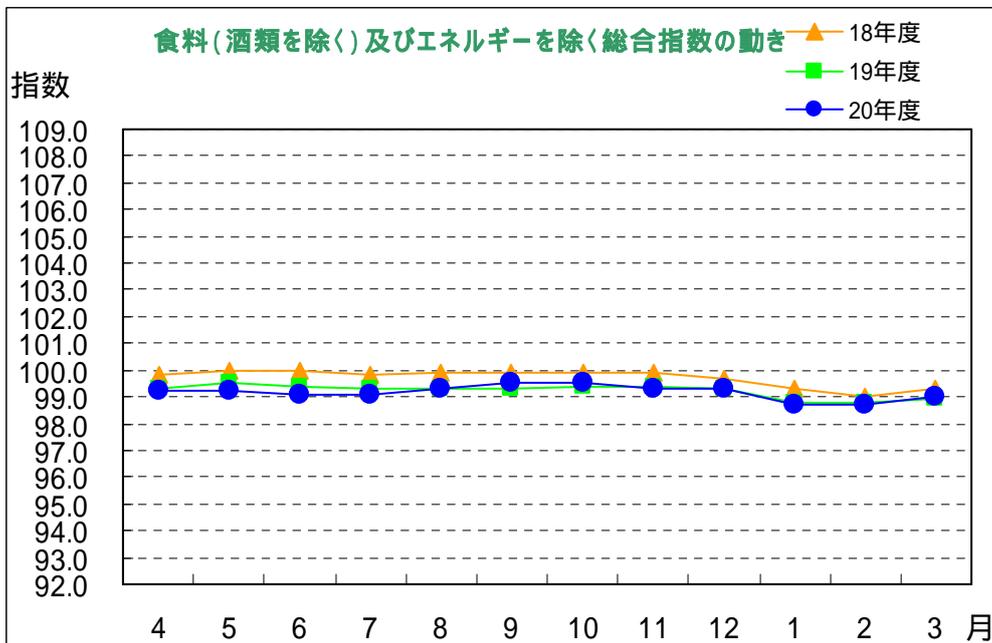
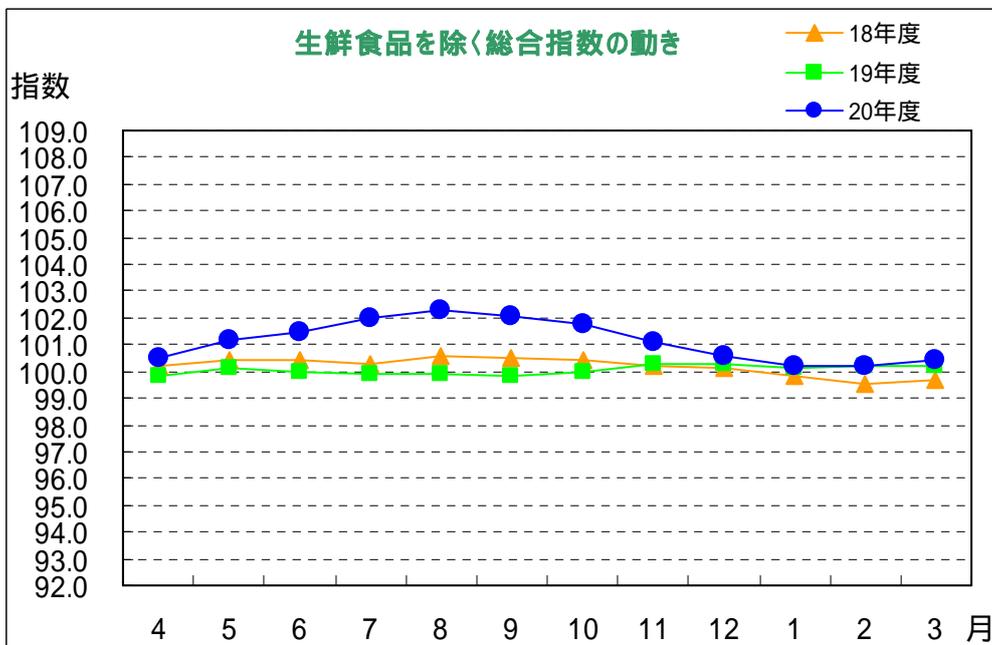
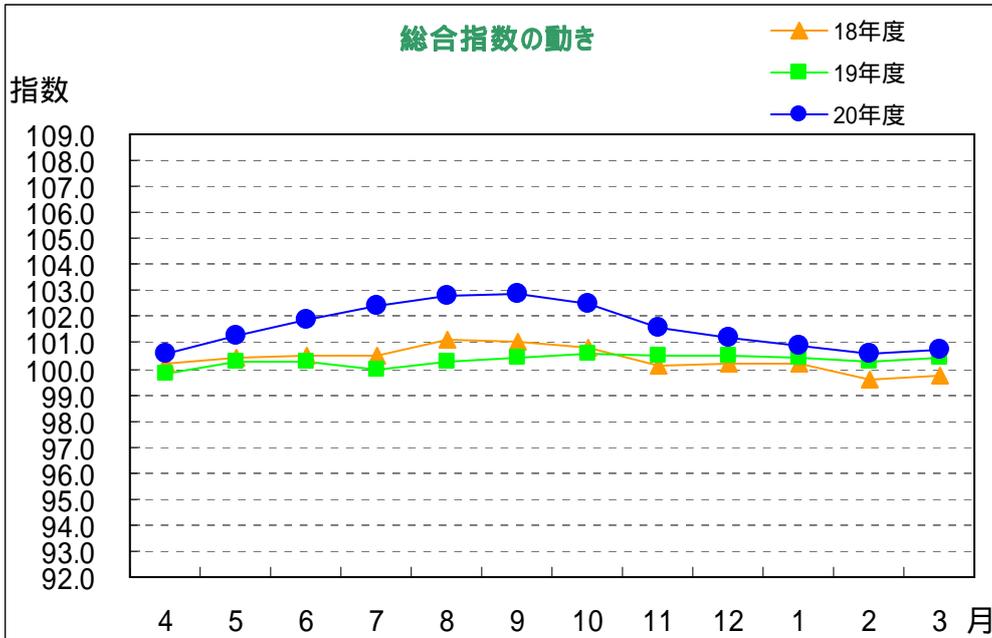
下落した中分類指数等の主な項目(寄与度順)

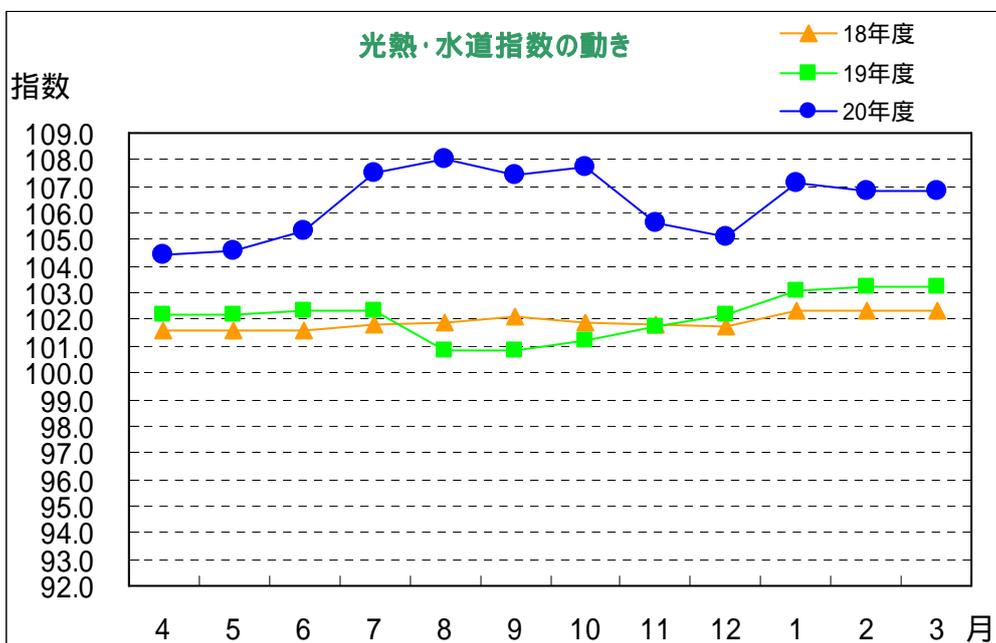
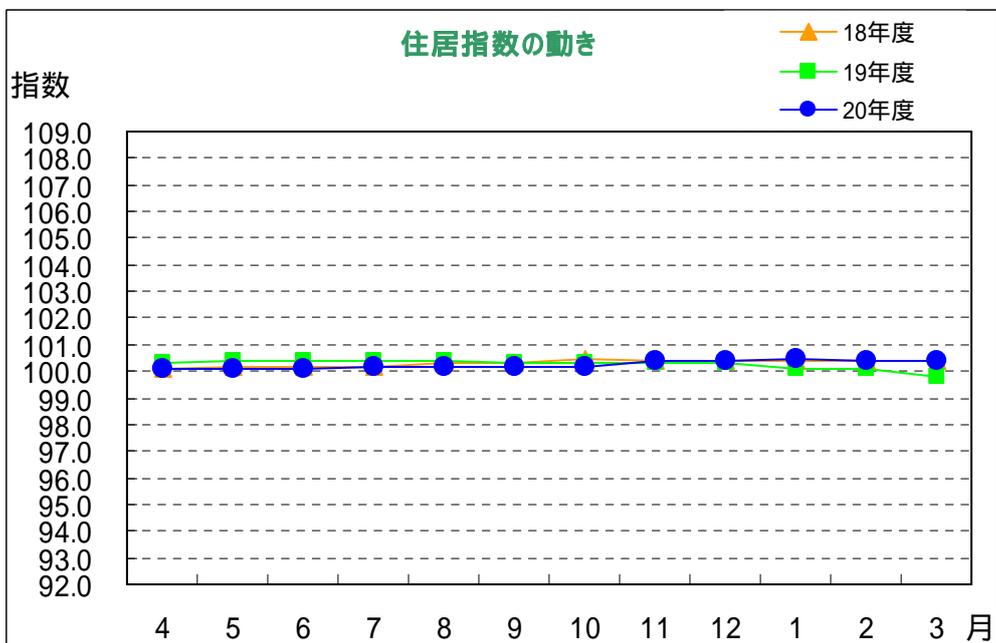
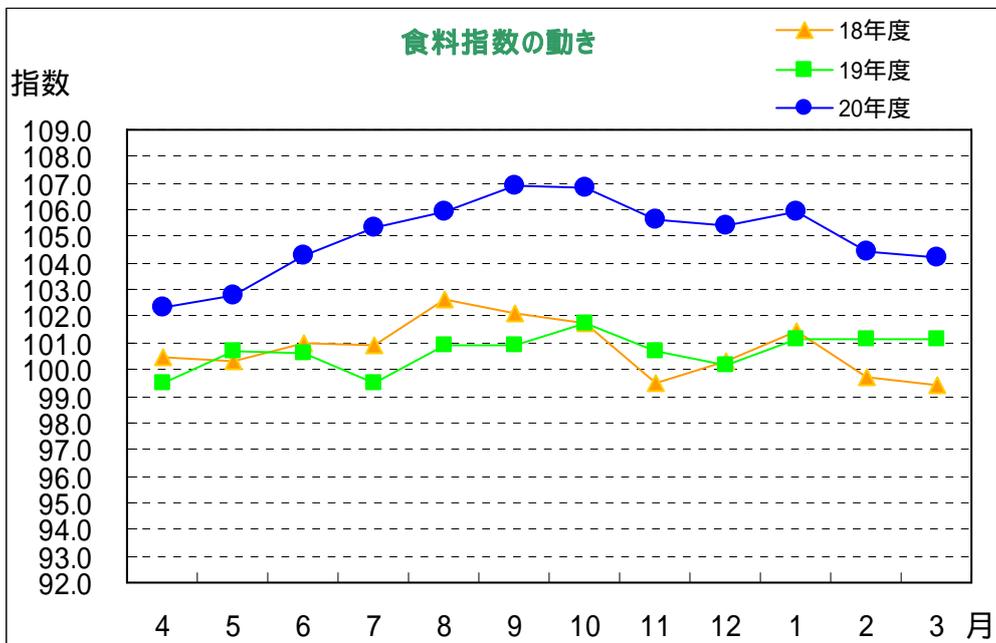
| | | |
|----------------|-----|-------|
| 自動車等関係費[交通・通信] | (-) | 8.2% |
| 教養娯楽用耐久財[教養娯楽] | (-) | 24.5% |
| 他の光熱[光熱・水道] | (-) | 26.3% |
| 菓子類[食料] | (-) | 5.1% |

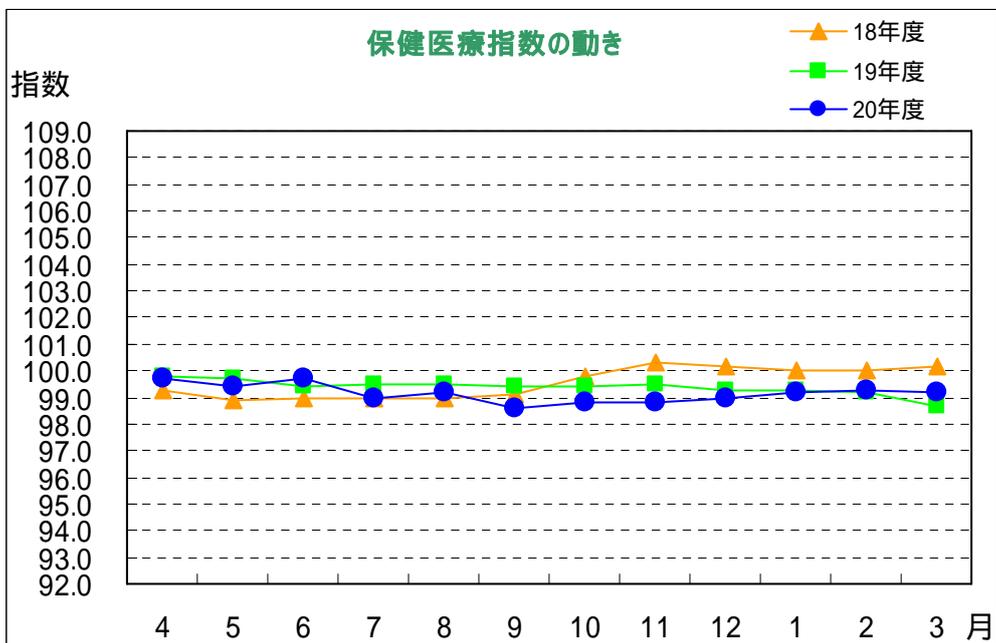
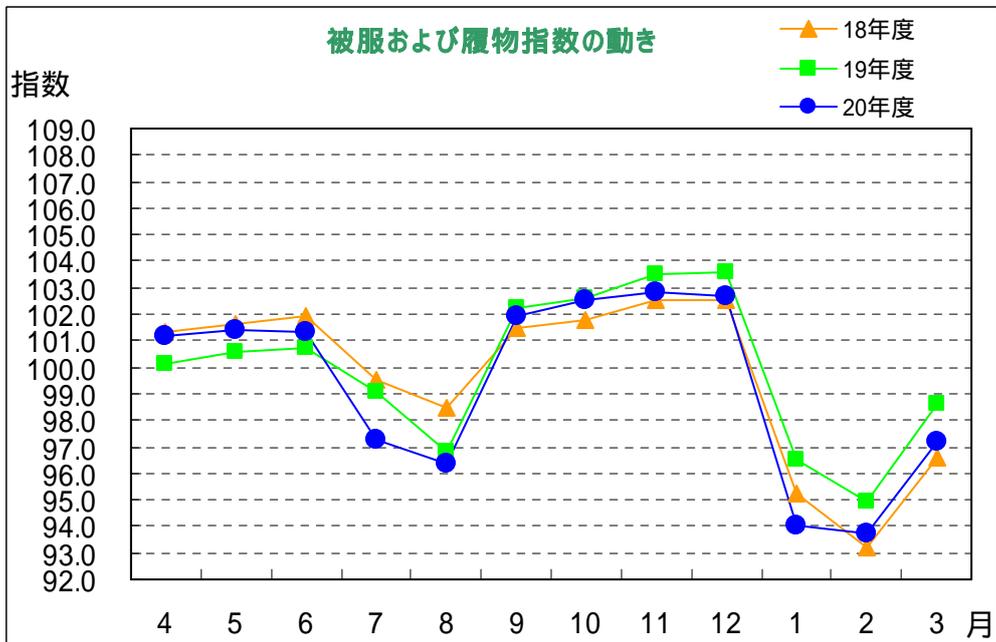
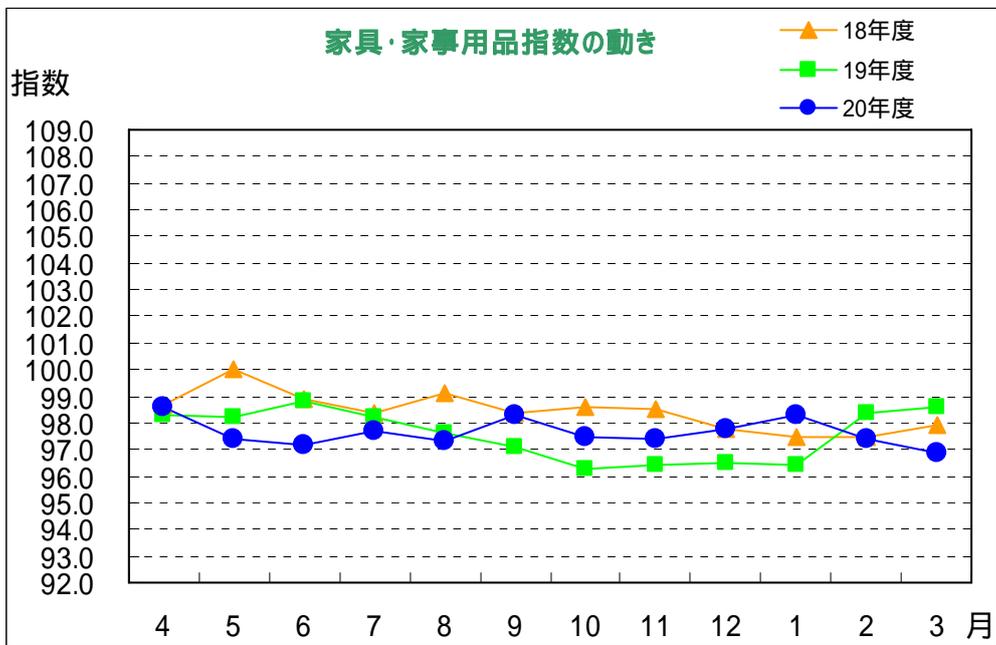
注) 中分類指数の項目のうち、寄与度および各指数の対前年同月比が比較的大きな項目のみを掲載しています。[]内は、10大費目名です。

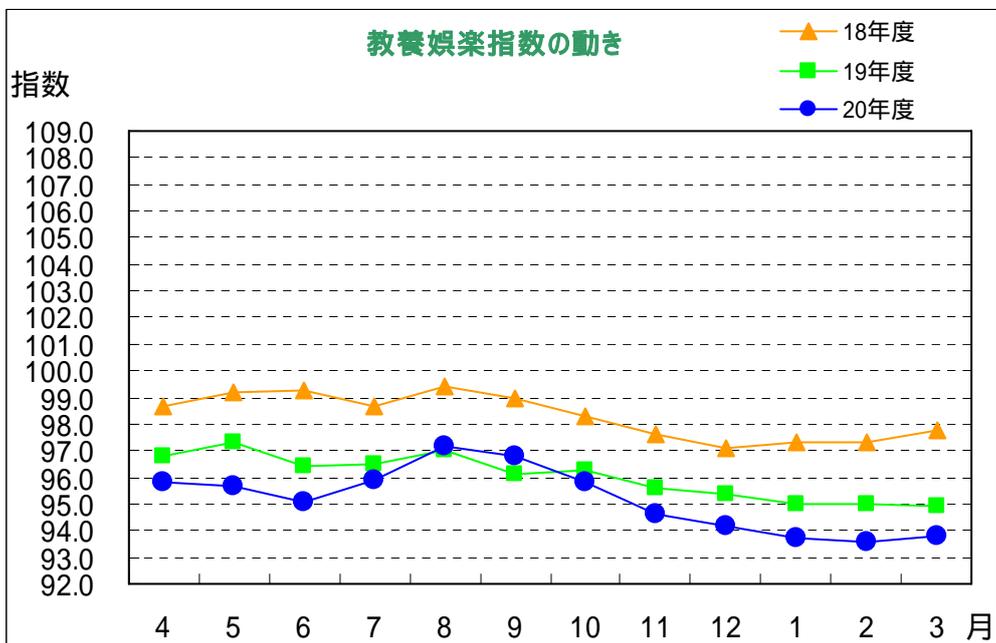
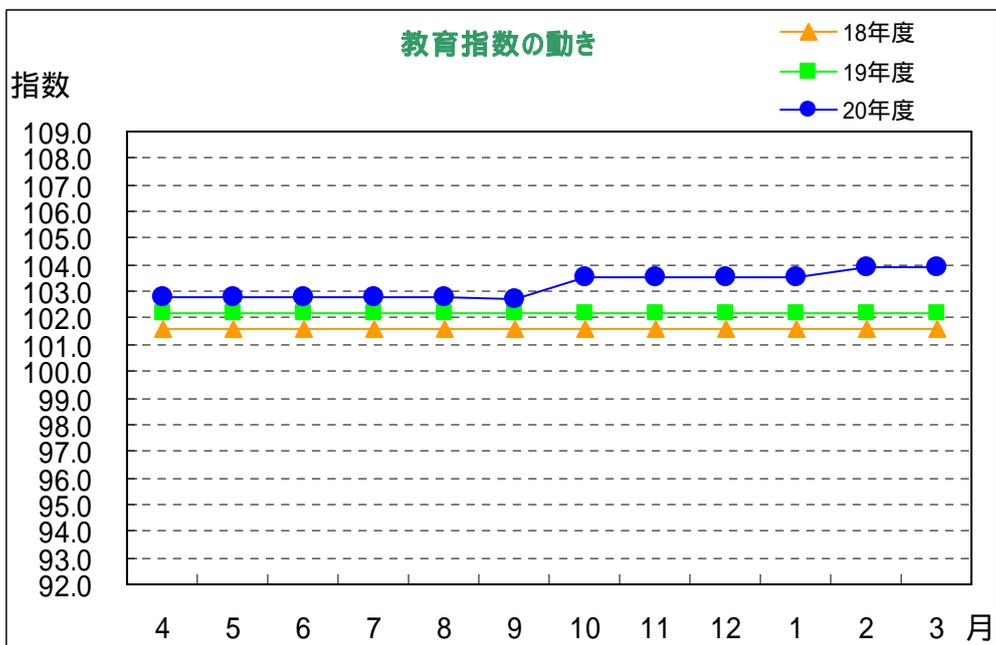
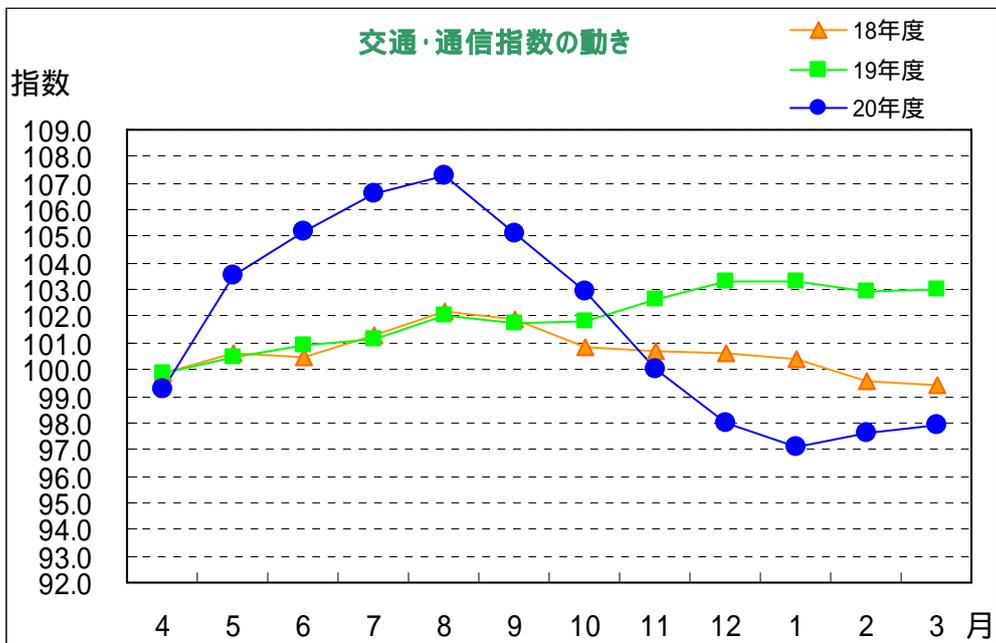
注) 生鮮食品(生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物)については、小分類指数です。

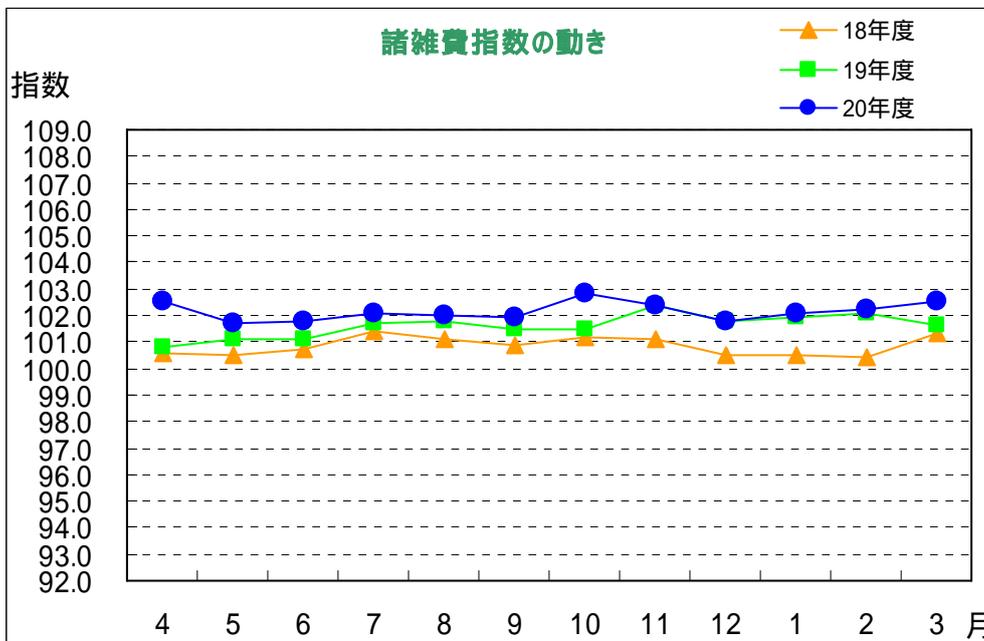
8.10 大費目別の年度比較











【参考】

消費者物価指数とは

消費者物価指数は、日常生活で私たち消費者が購入する各種商品（財やサービス）の価格の動きを総合し、平均的な物価の動きをみるために作られるもので、国民の消費生活にとって最も身近な指数です。日常購入する食料品、衣料品、電気製品、医薬・化粧品などの**財**の価格のほかに、授業料や家賃、理髪料、バス代などのような**サービス**の価格の動きも含まれます。

10大費目とは

指数計算に採用する品目は、世帯が購入する多数の財・サービス全体の物価変動を代表できるように、家計の消費支出の中で重要度が高いこと、価格変動の面で代表性があること、さらに、継続調査が可能であること等の観点から選定された581品目に、持家の帰属家賃4品目を加えた585品目です。これらを大分類したものが10大費目です。